

第6回スキルアップ委員会 議事録

- 1 日時 2月7日(月) 19:30~21:00
- 2 会議形式 オンライン会議 (Zoom) で開催
新型コロナウイルスが急拡大中であり、感染予防のため
- 3 出席者 9人
スキル委出席7: 内田(夏見)、中村(針)、松原(石部南)、川上(みどりの村)、
竹澤(サイドタウン)、築山(大谷)、岸田(湖南工業団地南)
役員出席 2: 曾我部会長、栗津副会長

仕事のため欠席2: 青木(正福寺)、西谷(桐松)
連絡なし欠席3: 原田(妙感寺)、高畑(朝国)、上西(下田西)
- 4 次第
 - (1) 開会 川上委員 (Zoom 配信準備、オンライン起動)
 - (2) 議事録作成者 今回は中村(針区) 次回は高畑(朝国区)
 - (3) 先進地視察「1/16(日)終日」中止の振り返り(反省と教訓)について
進行(経過報告): 委員長

・人と防災未来センター(神戸市)
・兵庫県広域防災センター(三木市)
参加予定者44人(男子35名、女子9名)大型バス2台
今回の出費: 4,445円(参加者連絡用の封筒・切手代)
キャンセル料の発生なし(本来ならバス代金は2週間前から発生)

- ・委員長から「スキル委員会は1/7(木)に、先進地視察中止の基準」を示していたが、役員から1/8に基準に達していないが、“厳しいコロナ情勢なので「実施?」「中止?」の協議しよう”との提案があり、良かった。「中止判断」を早くしたため、関係者に迷惑かけずに良かった。今後、こうした事案が起きた場合、今回のように関係する正副委員長と役員会で緊急に協議する場を設けたら良い、と思う。
- ・1/9(日)夕、役員6役とスキルアップ正副委員長がオンラインで対策協議した。

その結果、両県には「蔓延防止等重点措置」が発令されていないが、コロナ禍が急拡大している現状を踏まえ、「残念ながら中止」と決定した。参加者から「やむを得ず」と意見がまとまった。

(4) R4年度 スキルアップ委員会の事業計画・予算（案）についての意見交換
進行：委員長

提案した事業計画（案）及び予算（案）に対し以下の意見、要望等があった。

○事業1：先進地視察

- ・今年度の先進地視察の中止に伴い、本年度に残る予算を来年度に繰り越すことは可能か？ また、使用目的を明確にして基金名目なら繰り越しが可能ではないか？

⇒ 全てを繰り越すことは難しい。危機管理防災課に問い合わせる。（会長）

- ・コロナ情勢が不明確な中、参加目標 80 名に対して 40 人乗りバス 2 台では密になり難しいのではないか？

⇒ コロナが収束した場合を想定している、現状を把握し調整する。

- ・新たに視察先の下見観覧 2 人の予算計上について

⇒ 必要であり有効と思う、反対なし。

○事業2：スキルアップ研修会

- ・単にオンライン受講できるのでなく、幹事個人が、各地域で主催（ホストになり主催）できるまでに、スキルをアップしよう。
- ・その一方で、幹事の皆さんの中で PC やスマホは苦手、取り組み難い、という方も居られようから、ウイズコロナの時代、極力、幹事さんには積極的に取り組んで頂くように、配意した取り組みを合わせて進めよう。
- ・予算は本年度実績より少ないが、しっかりやっていけるのか？
- ・本年度に行ったサテライト会場での研修課題をクリアにしていきたい。

○事業3：スキルアップ技能講習会

- ・普通救命講習は毎年実施してほしい。

⇒ コロナ禍のため、湖南中央消防では救命講習を休止している。再開したら受講できるよう、連携を密にしている。（委員長）

- ・本年実施した社協の災害 VC の SUG カードゲームを新年度も取り組んだらどうか？（3 人） 取り組む場合、社協はもっと時間をかけて良いから、我々が理解できるように進めてほしい。

見直した R4 年度スキルアップ委員会の事業計画（案） 予算（案）

事業	事業内容	実施予定時期	予算
先進地視察	被災地・防災活動先進地・防災研修施設などの視察 人と防災未来センター（神戸） 兵庫県広域防災センター（三木市） 40人乗り 2台（目標80人） 下見観覧2人 JR代 7,920円 R4年は昨年計画を実施 予備：1 昨年未実施の名古屋市港防災センター	コロナ収束を見極め日曜日に実施	350 昨年予算300に対し 実績（計画）：328,170 下見観覧追加等
スキルアップ研修会	スキルアップのため研修会、講習会、出前講座などの開催 ① 地震災害 出前講座 ② オンライン主催及び受講の推進 目標：幹事のオンライン主催研修 全会員のオンライン受講推進、サテライト設置はコロナ収束を見極めて開設する ③ 市が主催する研修会、講習との協賛・共催を働きかける（昨年実績なし）	コロナ収束を見極め日曜日に実施	50 昨年予算60に対し 2回の出前講座 実績：12,276 今年度も講師への薄謝等
スキルアップ技能講習会	必須技能講習として普通救命講習を毎年度実施、その他技能講習会などの開催 ① 消防署員の普通救命講習30人 東京出版KK制作「応急手当講習テキスト改訂6版」を幹事に購入し配布する（7月以降に発行予定） 152円×43区=6,536円 代引手数料 330円 ② 技能講習に相応しい消防団初	コロナ収束を見極め日曜日に実施	50 昨年予算60に対し 湖南市社協の災害VCカードゲーム体験 実績：支出なし テキスト購入

	任団講習、自衛隊滋賀地連、大阪ガス kk、滋賀県危機管理局及び昨年実施した湖南市社協災害 VC のSUGカードゲームを再度体験等の中から協議のうえ選考実施		及び 講師への薄謝等
--	---	--	---------------

- (5) 次回、定例幹事会は、2/17（木）19:00～21:00 サンライフ甲西大会議室
 スキルアップ委員会は、3/7（月）19:30～21:00 菩提寺まちセン

※幹事会、委員会ともコロナの状況を考慮して実施方法を検討する。

以上

事業報告・事業計画（案）

委員会名 スキルアップ委員長 竹澤 克彦

令和3年度（2021年度）事業報告

事業	事業内容と費用	実施日	実施場所	参加人数
先進地視察	◎防災研修施設、広域防災センターなどの視察 ・人と防災未来センター（神戸市） ・兵庫県広域防災センター（三木市） *コロナ急拡大、1/10 急遽中止 ○費用 4,445 円	2022.01 .16(日)	兵庫県神戸市ほか	0 人
スキルアップ研修会	◎スキルアップのため研修会、講習会などの開催 ① 滋賀県砂防課土砂災害出前講座 *コロナ急拡大、4 サテライト急遽中止 ○費用 7,280 円 ② 滋賀県流域治水風水害出前講座 *念願のオンライン配信とサテライト開設 又、区長を介して防災士会員外の防災関係者にも受講を広く呼びかけ。 ○費用 4,996 円	2021.09 .26(日) 2021.12 .05(日)	オンラインのみ オンラインとサテライト4ヶ所	28 人 101 人 (うちオンライン30)
スキルアップ技能講習会	◎必須技能研修：普通救命講習を毎年度実施、その他技能講習会などの開催 ・湖南市社協と連携し災害 VC のSUGカードゲーム(災害ボランティアセンターの運営カードゲーム)を体験 *湖南市中央消防署はコロナ禍のため、昨年に続き本年度も救命講習中止 ○費用 0	2021.06 .20(日)	サンライフ甲西	31 人

令和4年度（2022年度）事業計画（案）

事業	事業内容	実施予定時期	予算
先進地視察	被災地・防災活動先進地・防災研修施設などの視察 人と防災未来センター（神戸） 兵庫県広域防災センター（三木市） 40人乗り 2台（目標80人） 下見観覧2人 JR代 7,920円 *各区2名動員で80人見込み、コロナ収束状況を注視、見極めが肝心 R4年は昨年計画を実施する。 予備：1 昨年未実施の名古屋市港防災センターの視察	コロナ収束を見極め日曜日に実施	350 昨年予算300に対し 実績（計画）：328,170 新たに下見観覧追加等
スキルアップ研修会	スキルアップのため研修会、講習会、出前講座などの開催 ① オンライン主催及び受講の推進 目標：全幹事がオンライン受講できるような、又、オンラインを主催（ホストになる）できるような研修会の開催をめざす。 全会員のオンライン受講推進、サテライト設置は、コロナ収束を見極めて開設する ② 地震災害 出前講座 ③ 湖南省が主催する研修会、講習との協賛・共催を働きかけ、防災士連絡会の存在を市民・地域に周知する（昨年実績なし）	コロナ収束を見極め日曜日に実施	50 昨年予算60に対し 2回の出前講座 実績：12,276 今年度も講師への薄謝、新たな全会員のオンライン受講取組み等
スキルアップ技能講習会	必須技能講習として普通救命講習を毎年度実施、その他技能講習会などの開催 ① 消防署員の普通救命講習30人 東京出版KK制作「応急手当講習テキスト改訂6版」を幹事に購入し配布する（7月以降に発行予定） 152円×43区=6,536円 代引手数料 330円 ② 技能講習に相応しい消防団初任団講習、自衛隊滋賀地連、大阪ガスkk、滋賀県危機管理局及び昨年実施した湖南省社協災害VCのSUGカードゲームを再度体験等の中から協議のうえ選考し実施する	コロナ収束を見極め日曜日に実施	50 昨年予算60に対し 湖南省社協の災害VCカードゲーム体験 実績：支出なし 新たに5年に一度改訂されるテキスト購入 及び 講師への薄謝等